

地球温暖化対策推進状況評価ツール
(第二区分事業所)の手引き
(第三計画期間)

2023年4月

東京都 環境局

目 次

第1部 ツール全体構成及び各シートの記入要領.....	1
第1章 地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所).....	1
1 全体構成	1
2 各シートの記入要領及び記入例.....	3
メインシート.....	3
エネルギー使用量総括表シート.....	4
基本情報入力シート.....	5
取組状況入力シート(共通、工場他、上水道、下水道、廃棄物).....	6
調書シート.....	23
評価書シート.....	32
評価結果シート.....	33
重み係数シート.....	34
評価結果貼付用シート.....	34
第2章 地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所) 【複数エネルギー管理責任者用】	35
1 全体構成.....	35
2 各シートの記入要領及び記入例.....	36
複数管理者用メインシート.....	36
複数管理者用評価結果シート.....	37
複数管理者用評価書シート.....	38
3 地球温暖化対策推進状況評価書(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】 作成上の注意点.....	39

第2章 地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

1 全体構成

1つの認定申請事業所に、複数のエネルギー管理責任者が存在し、評価項目の取組状況の一括した把握が難しい場合であって、エネルギー管理責任者ごとのエネルギー管理区分の範囲及びエネルギー管理区分ごとのエネルギー使用量が明確に区別できるときは、エネルギー管理責任者ごとに地球温暖化対策推進状況評価書(第二区分事業所)を作成し、それぞれの評価結果を地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】を用いて集計することが可能である。

認定申請事業のエネルギー管理区分ごとに、地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)を用いて評価した結果を、評価結果貼付用シートよりコピーし、地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】の複合版評価結果シートに値形式で貼り付けることで、認定申請事業所全体の評価が可能である。

認定申請事業所としての各評価項目の得点は、エネルギー管理責任者ごとに算出された評価項目ごとの得点を、エネルギー管理責任者ごとのエネルギー消費量が認定申請事業所全体のエネルギー消費量に占める割合で加重平均した数値となる。

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

入力用

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

複数管理者用メインシート 第1号様式その32

複数管理者用評価結果シート 第1号様式その33からその40

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)

評価結果確認用

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

評価結果確認用シート

値形式で
貼り付け
6つまで
可能

評価結果貼付用シート

評価結果確認用

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

評価結果確認用シート

複数管理者用評価書シート 第1号様式その31

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

2 各シートの記入要領及び記入例

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】のファイルを開くと、複数管理者用メインシートが表示される。

1 複数管理者用メインシート(第1号様式その32)

第1号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第二区分事業所))その32

評価・検証の概要

評価日	2017年6月1日	認定申請	2020年度	報告	2021年度	認定年度	2020年度
評価者	会社名等	Ver.Ⅲ2018.0					
	所属	「2020」のように半角数字を入力する。					
	氏名	東京 次郎					
検証日	2017年8月1日	認定申請事業所全体の数値を入力する。					
検証者	会社名等						
	所属						
	氏名	日本 花子					

報告の際には、プルダウンから「報告」を選択する。

「報告」を選択すると認定年度の入力欄が表示される。

評価者は、認定申請事業所全体の評価ツールの作成責任者とする。

事業所の概要

指定番号	100001	年月の入力欄は、「2012/4」のように、「年(西暦)/月」と入力する。					
地球温暖化対策事業者の氏名	東京環境工業株式会社 代表取締役社長 東京 太郎						
事業所の名称	東京環境工業 東京工場						
主たる用途	工場						
敷地面積	150,000 m ²	延床面積又は事業所の床面積	120,000 m ²	棟数	15 棟		
階数	地上 2 階	竣工年月	2000年4月	前年度CO2排出量実績	25,000 t-CO2/年	208.3 kg-CO2/m ² ・年	
基準排出量	550,000 t-CO2/年	前年度一次エネルギー消費量実績	520,000 GJ/年	4,333 MJ/m ² ・年			

評価No.及び用途ごとに入力

用途別床面積

用途名	床面積[m ²]						計	床面積比率
	評価No.1	評価No.2	評価No.3	評価No.4	評価No.5	評価No.6		
事務所	6,500	3,000	4,800				14,300	11.9%
食堂・厨房	300		200				500	0.4%
電算室	200						200	0.2%
工場・プラント(空調)	30,000	10,000					40,000	33.3%
工場・プラント(換気)	60,000						60,000	50.0%
冷凍・冷蔵庫		2,000					2,000	1.7%
特殊空調室	3,000						3,000	2.5%
	100,000	15,000	5,000				120,000	100.0%
	83.3%	12.5%	4.2%				100.0%	—

評価No.及びエネルギー消費先区分ごとに入力

エネルギー消費先比率

エネルギー消費先区分		採用値[GJ/年]						計	採用値
区分	細目	評価No.1	評価No.2	評価No.3	評価No.4	評価No.5	評価No.6		
ユーティリティ設備等	蒸気供給	36,488	4,520					41,008	7.4%
	熱源	32,970	7,740					40,710	7.3%
	冷却塔	811	270					1,081	0.2%
	熱搬送	4,601	2,010					6,611	1.2%
	コージェネ	20,000						20,000	3.6%
	受変電	13,227	970	320				14,517	2.6%
	圧縮空気	3,660	920					4,580	0.8%
	給排水	3,582	840	80				4,502	0.8%
	給湯	40	30	70				140	0.0%
	排水処理	2,372	12,200					14,572	2.6%
建築設備	一般パッケージ空調	11,481	780	4,780				17,041	3.1%
	一般空調機	8,666	3,540					12,206	2.2%
	換気	16,874	1,430	620				18,924	3.4%
	照明	40,279	5,860	2,020				48,159	8.6%
	昇降機	335		250				585	0.1%
	コンセント	6,223	1,960	1,840				10,023	1.8%
生産工程	厨房	231		450				681	0.1%
	燃料燃焼	31,016	1,250					32,266	5.8%
	熱利用	5,859	3,320					9,179	1.6%
	電動力応用	142,514	6,340					148,854	26.7%
	電気加熱	22,775	920					23,695	4.3%
							47,856	8.6%	
							4,700	0.8%	
							25,200	4.5%	
							10,004	1.8%	
	輸送	342					342	0.1%	
計	全般	487,405	59,600	10,430			557,435	100.0%	
	比率	87.4%	10.7%	1.9%			100.0%	—	

認定申請事業所全体のエネルギー消費先別のエネルギー消費比率が自動計算される

入力用

2 複数管理者用評価結果シート
(第1号様式その33からその40)

エネルギー管理責任者ごとの評価結果の入力

- エネルギー管理責任者(評価No.)ごとに、地球温暖化対策状況評価ツール(第二区分事業所)の評価結果貼付用シートの緑色のセルの部分をコピーする。
- 地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】の複数管理者用評価結果シートの各評価No.の欄に値形式で貼り付ける。
- 操作方法は、メニューバーの「編集」→「形式を選択して貼り付け」→貼り付ける形式を「値」を選択し、「OK」をクリックする。
(貼り付けるエリアを選択した後に右クリックして「形式を選択して貼り付け」を選択して、値形式で貼り付けすることも可能。)
- 複合版評価結果シートは、最大6つまで評価結果の貼り付け可能である。該当する評価結果がない場合は、空欄のままとする。
- 評価No.ごとの評価分類が異なっていないかどうか確認する。同一の評価項目で評価分類が異なっている場合は、各設備(蒸気ボイラー、熱源、変圧器、エアコンプレッサー)の設置年度が、エネルギー管理区分ごとに作成した評価ツールの間で異なっているため、同一の数値となるように修正した上で、もう一度貼り付け直す。

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)(評価No.1のファイル)

地球温暖化対策推進状況評価結果一覧表(第二区分事業所)【複数管理者用貼付用】

※ 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。
不合格の要件の欄の×印は、トップレベル事業所の必須要件を満足しない場合を示す。

評価項目の区分	No.	評価項目	評価分類	不合格要件	得点	最高得点	
1. CO2削減推進体制の整備	1.1	CO2削減推進会議の設置	◎		0.200	0.200	
	1.2	CO2削減推進会議の開催	◎		0.200	0.200	
	1.3	PDCA管理サイクルの実施体制の整備	◎		0.240	0.300	
	1.4	ISO14001の取得	○		0.050	0.050	
	1.5	エネルギー管理優良工場等の表彰	○		0.200	0.200	
	1.6	CO2削減に関するQCサークル活動、改善提案制度の導入	○		0.050	0.050	
	2. 図面、管理標準等の整備	2.1	図面・改修履歴等の整備	◎		0.300	0.300
		2.2	設備台帳等の整備	◎		0.300	0.300
		2.3	管理標準等の整備	◎		0.400	0.400
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	3.1	エネルギー管理システムの導入	◎		0.600	0.600
		3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.300	0.300
		3.3	エネルギー消費量別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.300	0.300
		3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.400	0.400
		3.5	管理日報・月報・年報の作成	◎		0.200	0.200

評価結果貼付用シート

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)(評価No.2のファイル)

地球温暖化対策推進状況評価結果一覧表(第二区分事業所)【複数管理者用貼付用】

※ 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。
不合格の要件の欄の×印は、トップレベル事業所の必須要件を満足しない場合を示す。

評価項目の区分	No.	評価項目	評価分類	不合格要件	得点	最高得点	
1. CO2削減推進体制の整備	1.1	CO2削減推進会議の設置	◎		0.200	0.200	
	1.2	CO2削減推進会議の開催	◎		0.200	0.200	
	1.3	PDCA管理サイクルの実施体制の整備	◎		0.240	0.300	
	1.4	ISO14001の取得	○		0.050	0.050	
	1.5	エネルギー管理優良工場等の表彰	○		0.200	0.200	
	1.6	CO2削減に関するQCサークル活動、改善提案制度の導入	○		0.050	0.050	
	2. 図面、管理標準等の整備	2.1	図面・改修履歴等の整備	◎		0.300	0.300
		2.2	設備台帳等の整備	◎		0.300	0.300
		2.3	管理標準等の整備	◎		0.400	0.400
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	3.1	エネルギー管理システムの導入	◎		0.600	0.600
		3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.300	0.300
		3.3	エネルギー消費量別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.300	0.300
		3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.400	0.400
		3.5	管理日報・月報・年報の作成	◎		0.200	0.200

評価結果貼付用シート

値形式で貼り付け

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

※ 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。
不合格の要件の欄の×印は、トップレベル事業所の必須要件を満足しない場合を示す。

評価項目の区分	No.	評価項目	評価分類	不合格要件	得点	最高得点	
1. CO2削減推進体制の整備	1.1	CO2削減推進会議の設置	◎		0.200	0.200	
	1.2	CO2削減推進会議の開催	◎		0.200	0.200	
	1.3	PDCA管理サイクルの実施体制の整備	◎		0.240	0.300	
	1.4	ISO14001の取得	○		0.050	0.050	
	1.5	エネルギー管理優良工場等の表彰	○		0.200	0.200	
	1.6	CO2削減に関するQCサークル活動、改善提案制度の導入	○		0.050	0.050	
	2. 図面、管理標準等の整備	2.1	図面・改修履歴等の整備	◎		0.300	0.300
		2.2	設備台帳等の整備	◎		0.300	0.300
		2.3	管理標準等の整備	◎		0.400	0.400
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	3.1	エネルギー管理システムの導入	◎		0.600	0.600
		3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.300	0.300
		3.3	エネルギー消費量別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.300	0.300
		3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.400	0.400
		3.5	管理日報・月報・年報の作成	◎		0.200	0.200

※ 異なるものがないか確認する。

複数管理者用評価結果シート(第1号様式その33からその40)

3 複数管理者用評価書シート(第1号様式その31)

評価結果の確認

- ・ 複数管理者用評価結果シートへの値貼り付けが終了すると、認定申請事業所の地球温暖化対策推進状況の評価結果が、複数管理者用評価書シートに表示される。
- ・ 総合得点及び必須要件によって、認定申請事業所がトップレベル事業所等の認定水準を満足しているどうか確認できる。
- ・ 要求事項別の評価結果から、認定申請事業所において優れている点や、今後重点的に取り組むべき対策等が確認できる。

評価結果確認用

第1号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第二区分事業所)その31)

地球温暖化対策推進状況評価書(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】

事業所の概要

指定番号	100001		
事業者の氏名	東京環境工業株式会社 代表取締役社長 東京 太郎		
事業所の名称	東京環境工業 東京工場		
施設用途	工場		
敷地面積	150,000 m ²	延床面積又は事業所の床面積	120,000 m ² 棟数 15 棟
階数	地上 2 階	竣工年月	2000年4月
基準排出量	550,000 t-CO ₂ /年	前年度CO ₂ 排出量実績	25,000 t-CO ₂ /年 208.3 kg-CO ₂ /m ² ・年
		前年度一次エネルギー消費量実績	520,000 GJ/年 4.333 MJ/m ² ・年

総合評価結果

基礎得点	75.9 点	判定	◎	トップレベル事業所の認定水準を満足しています。
総合得点	87.4 点	不合格要件の数	0	

総合得点の構成

基礎得点の得点率バランス

基礎得点の得点率バランス

要求事項別の評価結果

I 一般管理事項

- CO2削減推進体制の整備
- 図面・管理標準等の整備
- 主要設備等に関する計測・計量及び記録
- エネルギー消費量・CO2排出量の管理
- 保守・点検の管理

II 設備及び建物の性能に関する事項

- ユーティリティ設備の省エネルギー性能
 - a. 蒸気供給設備
 - b. 熱源・熱搬送設備、冷却設備
 - e. 圧縮空気供給設備
 - その他(c.d.f.)
- 建築設備の省エネルギー性能
 - a. 空調・換気設備
 - b. 照明設備
 - その他(2c.-e. 3. 4.)
- 生産・プラント・特殊設備の省エネルギー性能
 - 燃料及び熱(5a.-d.)
 - 電気(5e.)
 - 特殊設備他(5f.-j.)

III 設備及び事業所の運用に関する事項

- ユーティリティ設備の運用管理
 - a. 蒸気供給設備
 - b. 熱源・熱搬送設備、冷却設備
 - e. 圧縮空気供給設備
 - その他(c.d.f.)
- ユーティリティ設備の保守管理
- 建築設備の運用管理
 - a. 空調・換気設備
 - b. 照明設備
 - その他(3c.-e.)
- 建築設備の保守管理
- 生産・プラント・特殊設備の運用管理
 - 燃料及び熱(5a.-d.)
 - 電気(5e.)
 - 特殊設備他(5f.-j.)
- 生産・プラント・特殊設備の保守管理

特記事項

トップレベル事業所の認定水準を満足しているかどうか、結果が出力される。

要求事項別の評価結果が表示されるので、今後、重点的に取り組む削減対策の参考にすることが可能である。

3 地球温暖化対策推進状況評価書(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】作成上の注意点

地球温暖化対策推進状況評価書(第二区分事業所)【複数エネルギー管理責任者用】を作成する上での、地球温暖化対策推進状況評価書(第二区分事業所)各様式の作成上の注意点を以下の通り説明する。

メインシート 第1号様式その2

- ・ 評価・検証の概要の内、評価日、評価者はエネルギー管理区分ごとに入力し、検証日、検証者は未入力とする。
- ・ 事業所の概要の内、地球温暖化対策事業者の氏名、事業所の名称は、エネルギー管理区分ごとの判別ができるように入力する。評価No.の欄は、エネルギー管理区分ごとに番号を選択する。
- ・ 事業所の概要の内、延床面積又は事業所の床面積、前年度CO₂排出量実績、前年度一次エネルギー消費量実績の3項目は、エネルギー管理区分ごとの数値を入力する。その際、エネルギー管理責任者ごとの数値の合計が、認定申請事業所全体の数値と合致するように注意する。その他の項目は、認定申請事業所全体の数値を入力する。竣工年月(西暦)は、認定申請事業所のすべての建物の中で最も古い建物の竣工年度を入力する。主たる用途は認定申請事業所全体で同一の用途を選択する。
- ・ 用途別床面積は、エネルギー管理責任者ごとのエネルギー管理区分を対象にした数値を入力する。その際、エネルギー管理責任者ごとの数値の合計が、認定申請事業所全体の数値と合致するように注意する。

エネルギー使用量総括表シート 第1号様式その3

- ・ エネルギー管理区分ごとに、設備・機器、エネルギー使用量を入力し、エネルギー消費先を選択する。他のエネルギー管理区分との重複や集計漏れがないように注意する。

基本情報入力シート 第1号様式その13

- ・ エネルギー管理区分ごとの数値を入力する。他のエネルギー管理区分との重複や入力漏れがないよう注意する。

取組状況入力シート 第1号様式その14からその30

- ・ エネルギー管理区分ごとに、取組状況を入力する。他のエネルギー管理区分との重複や入力漏れがないよう注意する。
- ・ 各設備の設置年度は、認定申請事業所全体の設備を対象とし、その中で最も新しい設備の設置年度及び最も古い設備の設置年度を入力する。

地球温暖化対策推進状況評価ツール(第二区分事業所)
第1号様式(優良特定地球温暖化対策事業者の認定ガイドライン(第二区分事業所))その2

Ver. 11 2015-β

評価・検証の概要
 評価日 2017年6月1日 認定申請 2017年度
 評価者 会社名等 所属 氏名 東京 次郎
 検証日 2017年8月1日
 検証者 会社名等 所属 氏名 日本 花子

事業所の概要
 指定番号 100001
 地球温暖化対策事業者の氏名 東京環境工業株式会社 代表取締役社長 東京 太郎
 事業所の名称 東京環境工業 東京工場
 主たる用途 工場
 敷地面積 100,000 m² 延床面積又は事業所の床面積 100,000 m²
 階数 地上
 基準排出量 25,000 t-CO₂/年 前年度CO₂排出量実績 22,500 t-CO₂/年 2,500 t-CO₂/m²・年
 前年度一次エネルギー消費量実績 450,000 kJ/m²・年 4,500 MJ/m²・年

用途別床面積
 ※床面積は各用途の共同部分を含んだ面積とし、複合用途の場合は全体共用面積を各用途の面積比で按分したものを各用途の面積に加えた数値とする。

用途名	含まれる用途	床面積	床面積比率
事務所	事務室、会議室、図書室、研究室等	6,500	6.5%
食堂・厨房	食堂、レストラン、喫茶店、厨房等	300	0.3%
電算室	電算室、サーバー室、コンピュータ室、GPU室、マシン室等	200	0.2%
工場・プラント(空調)	工場・プラント、実験室、試験室等のうち、大半に空調設備のある建屋	30,000	30.0%
工場・プラント(機械)	工場・プラント、実験室、試験室等のうち、大半に空調設備のない建屋、油圧プレス機、ロボット等	60,000	60.0%
冷凍・冷蔵	冷凍庫、冷蔵庫、冷凍冷蔵庫等		
特殊空調室	クリーンルーム、恒温恒湿室、要薬室	3,000	3.0%
合計		100,000	100.0%

エネルギー消費先比率
 ※エネルギー使用量総括採用値の欄に数値を記入してはならない。引括した実績値がある場合は、

エネルギー消費先区分	種別	主なエネルギー消費機器等	実測値 [GJ/年]	総括値 [GJ/年]	採用値 [GJ/年]	採用率
ユーティリティ設備等	高気圧供給	高気圧ボイラー等	36,488	36,488	36,488	6.0%
	熱源	冷凍機、冷温水機、温水ボイラー等	118,843	140,971	140,971	23.3%
	冷却塔	冷却塔	4,578	4,578	4,578	0.8%
	熱源送	空調1次ポンプ、空調2次ポンプ、冷却水ポンプ等	19,670	19,670	19,670	3.3%
建築設備	コージェネ	コージェネレーション等				
	変電設備	変圧器、蓄電池等	18,592	18,592	18,592	3.1%
	圧縮空気	エアコンプレッサー等	3,660	3,660	3,660	0.6%
	給排水	給水ポンプ等	3,582	3,582	3,582	0.6%
	給湯	給湯ボイラー、循環ポンプ、電気温水器、ガス湯沸器等	40	4,444	4,444	0.7%
	排水処理	排水処理設備、プロウ等	2,372	2,372	2,372	0.4%
	換気設備	パッケージ型空調機等	11,481	11,481	11,481	1.9%
	一般空調機	一般空調用空調機、ファンコイルユニット等	8,686	8,686	8,686	1.4%
	換気	給排気ファン等	16,874	16,874	16,874	2.8%
	照明	照明器具等	40,279	40,279	40,279	6.7%
生産・プラント・特殊設備	昇降機	エレベーター、ダムウェーター、リフト等	335	335	335	0.1%
	コンセント	オフィス機器、家電等	6,223	6,223	6,223	1.0%
	厨房	厨房器具、厨房用パッケージ型空調機、厨房用空調機、厨房用ファン等	231	231	231	0.0%
	燃料燃焼	工業炉、乾燥炉、焼き機等	31,016	31,016	31,016	5.1%
	熱利用	蒸気加熱装置、蒸し器、冷却装置等	5,859	5,859	5,859	1.0%
	電力応用	成形機、ミキサー、コンベア、ポンプ、ファン、プロウ等	121,450	142,514	142,514	23.8%
	電気加熱	誘導炉、アーク炉、抵抗炉、電気溶接機等	22,775	22,775	22,775	3.8%
	特殊空調機	クリーンルーム、恒温恒湿室、要薬室、動物実験室用パッケージ型空調機等	47,856	47,856	47,856	7.9%
	冷凍・冷蔵	冷凍機、冷蔵庫等				
	特殊設備	固液装置、VOC処理装置、スクラバー等	25,200	25,200	25,200	4.2%
給水供給	給水供給設備、RO装置等		10,004	10,004	1.7%	
給湯	ウォータリフト、蓄熱、場内専用車両等	342	342	342	0.1%	
計	全般	事業所全体のエネルギー消費機器等	307,597	598,607	604,011	100.0%
建物	外皮	建物外皮からの		4,000	4,000	0.7%